

# 楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.54

日時	2013年11月2日
行脚先	荒村寺
住所	兵庫県伊丹市伊丹（摂津国）
行事名	

## 特徴

荒村庵由緒によると、荒村寺は有岡城が落城した1578年当時から既に行者堂が建っていたそうですが、正確に建築された時期は不明です。  
江戸時代の寛政年間(1789～1800年)に、伊丹郷町の木綿屋徳三郎が禅宗に深く帰依し、郷町の堺町にあった閑室に嘯山虎溪和尚を招いて参禅したのが始まりと言われています。  
それが縁となって庵室を造られ、その際に現在の荒村寺の本尊様である十一面観音菩薩が安置されたそうです。  
天保年間(1830年～1843年)に一妙法国尼を開基とする尼寺となり、城山庵と号しましたが、荒木村重の古城跡の由緒から荒村庵と改めたそうです。  
また、荒村庵と名を改めたのは、「荒木村重」の菩提を弔うためとも言われています。  
実際に、現在でも荒村寺には荒木村重の位牌が祀られています。  
昭和25年(1950年)、法地開山を機に、荒村庵は山号を古城山とし、寺院名を現在の「荒村寺」としました。

## 黒田官兵衛との関わり

有岡城に居た荒木村重の菩薩を弔うため、位牌が祀られています。  
荒木村重は織田信長・黒田官兵衛と対立し、黒田官兵衛を土牢に幽閉しました。  
2013年11月2日には「友好交流調印式」が行われ、荒木村重の伊丹市が、黒田官兵衛の姫路市に400年の時を越えて「謝罪」するという、歴史的にとっても重要な式典が行われました。

## 記録

